

久しぶりの海外遠征で、出発の数日前から期待と希望で胸をはずませていました。海外でのホームステイは初めてなので、日常会話が不安でしたが、温かいホストファミリーの方々からいろいろなことを教えて頂き、楽しくそして有意義に過ごせました。

フィリピンでは、

- ① 自己管理をしっかりする。
- ② コミュニケーションを常に図る。
- ③ 日本人としての自覚をもち、マナーには特に注意してプレイをする。
- ④ 自分のベストパフォーマンスを出す。

という4つの目標を常に頭においていました。

またフィリピンでスポーツができる人は裕福だとよく耳にはしていましたが、ほんの一部の人しかプレイ出来ない事を目の当たりにして、自分の置かれた環境を改めて感謝しました。

例年のフィリピン遠征と違い、今回はマニラとセブ島の2か所へ行きました。セブ島はエメラルドグリーンに輝く海に囲まれ本当に綺麗でした。真冬の日本から真夏のフィリピンですから、暑さには最後まで慣れませんでした。この時期は涼しい季節というから驚きです。また、主なコートがシェルコートなので体への負担もかなり有り、普段より数倍のストレッチ等のケアの必要性を感じました。

また、以前雑誌で読んだことがあるのですが、「天地人を味方につけた戦い方」ということをふと試合中に思い出しました。今回の試合で何敗かしましたが、その主な敗因はサーフェス（地）を味方に出来ていないということです。だから地を味方にできるような技術をもっと身につけたいと思いました。

まだまだテニスが安定せず、集中力が持続しませんでした。今後の課題が少しですが見えてきたと思います。語学力を身につけ、もっといろんなコミュニケーションができれば、楽しさも倍増したと思います。今度外国に行く時まで英語を真剣に勉強したいです。

最後になりましたが、今回このような機会を与えて下さった兵庫県テニス協会の方々、引率して下さった方々、ホストファミリーの皆さん、応援して下さいました皆さん本当に有難うございました。今後この経験を必ずいかして成長したいと思います。

